

施策評価管理シート

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造	担当部局名	部局長名
	施 策	1	低炭素社会	地域環境部	田中 明子

1. 施策の基本方針 **P**lan

○人間の社会経済活動が地球温暖化に影響をもたらしています。市民の環境問題についての理解を深め、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で省資源・省エネルギーに取り組むとともに、相互に連携・協働して低炭素社会の構築を目指します。

2. 現状と課題 **P**lan

- ・スマートシティなばりエネルギーアクションプランの効果的な推進を行います。
- ・エコ通勤デーの実施率を向上させ、さらに多くのCO2を削減し、市民や事業者への啓発につなげます。

○施策指標（目標）及び達成状況 **P**lan **D**o

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合（％）	目標	-	-	-	90.0	0.0%
	成果	87.4	85.6	86.4		
環境マネジメントシステム導入事業所数（事業所）	目標	-	-	-	20	0.0%
	成果	18	18	17		
市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量（t-CO ₂ ）	目標	-	-	-	12,277	79.9%
	成果	12,789	12,559	12,380		

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） **P**lan **D**o

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・現行のスマートシティなばりエネルギーアクションプランの効果的な推進を行うため、市が省資源・省エネルギー行動（エコ通勤デー・ノー残業デーライトダウンキャンペーン・庁舎窓へのグリーンカーテン設置・イベントや環境新聞での啓発等）を積極的に実践し、市民や事業者に対し、啓発します。 ・エコ通勤デーを地球温暖化対策と同時に職員の健康増進を図る目的で、運動に適した季節に実施することにより、実施率のさらなる向上を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省資源・省エネルギー行動を推進するため、エコ通勤デー及びノー残業デーライトダウンキャンペーンの取組を実施しました。 ・来庁者の視界に入りやすい庁舎窓へグリーンカーテンを設置し、夏期の省エネルギーの啓発の一環としました。 ・「名張クリーン大作戦2017」「比奈知ダム施設見学会」「とれたて！なばり」等のイベントでは省資源・省エネルギーに関する展示を行いました。 ・環境新聞において、「低炭素社会を考え実践する日」にちなんで、日常から実践できる身近な省エネルギーの取組方法を具体的に提案し、啓発を行いました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 **C**heck

・市民・事業者・行政がそれぞれの立場で省資源・省エネルギーに取り組む、低炭素社会の構築を目指すため、日常生活で実践できる身近な省資源・省エネルギーの取組方法や事例を紹介し、さらなる啓発に努めていきます。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） **A**ction

・現状を踏まえ、EMS（名張市環境マネジメントシステム）の見直しを行います。

・現行のスマートシティなばりエネルギーアクションプログラムの効果的な推進を行うため、市が省資源・省エネルギー行動（エコ通勤・ノー残業デー・ライトダウンキャンペーン・庁舎窓へのグリーンカーテン設置・イベントや環境新聞での啓発等）を積極的に実践し、市民や事業者に対し啓発します。

6. 行政評価委員会による総合評価 **C**heck

市民、事業者等が環境保全への関心を高められるよう周知啓発を行うとともに、事業所との公害防止協定の締結について、取組を進めること。